



9 / 30 みんなで刈り取った秋の実り

稲刈り体験を通して



9月30日、天候にも恵まれた中、小原中部小学校の全校児童が、学校近くの田んぼで稲刈りを体験しました。黄金色に実った稲を前に、子どもたちは目を輝かせながら、鎌を手に一株ずつ丁寧に刈り取りました。

この活動には、保護者の皆さまや地域の方々が多数ご協力くださり、子どもたちの安全を見守りながら、作業の手ほどきや励ましの声をかけてくださいました。温かなまなざしに包まれながら、子どもたちは自然と感謝の気持ちを抱き、真剣な表情で取り組んでいました。

当日は、児童一人一人が「今、自分にできることは何か」を考え、稲を運ぶ係、刈り取る係など、それぞれの役割を果たしました。声をかけ合い、助け合いながら、作業は驚くほど手際よく進み、田んぼには子どもたちの協力の跡がしっかりと刻まれました。

今回の稲刈りの様子について、東海テレビの取材を受けました。稲作活動を主導してきた5年生の代表児童が、インタビューに応じ、学校で育てているブランド米「ミネアサヒ」についてや、仲間と協力して取り組んできた過程を堂々と語ってくれました。



取材では、児童たちが泥だらけになりながらも、慣れない鎌を手に一株ずつ丁寧に刈り取る姿が映され、地域の方々とともに収穫を楽しむ様子が紹介されました。代表児童のインタビューからは、活動への誇りや、自然とふれあう喜びが伝わってきました。

この様子は、東海テレビのホームページにてニュース記事として掲載されています。ぜひご覧いただき、子どもたちの生き生きとした姿をご確認ください。

稲刈りを通して、自然の恵みへの感謝、地域の方々とのつながり、そして仲間と協力することの大切さを学んだ子どもたち。秋の風に揺れる稲穂のように、心豊かに成長していく姿がとても頼もしく感じられました。

東海テレビの記事はこちらからご覧いただけます → → →
https://www.tokai-tv.com/tokainews/article_20250930_42638

